

来年秋・冬に

二度目の

住民投票？

2015年5月に一度否決された「大阪市廃止」・「特別区」設置にむけた二度目の「住民投票」の動きが強まっています。「大阪市廃止」で市民のくらしがどう変わるのか？一緒に話し合いませんか？

政令市で住民サービスの向上を！

大阪都

大阪市廃止

について

考えましよう

大阪市廃止で

1兆1000億円？

嘉悦学園レポートは机上の空論

「特別区」にすると10年で1兆1000億円の経費が削減できる効果があるというレポートが法定協で議論されました。しかし、どの仕事を省いて経費を削減するのが明らかでなく「机上の空論」でしかありません。

珍論！「特別区」の庁舎は淀屋橋庁舎を共同使用!?

「特別区」は東京だけの制度です。1943年に戦争遂行のためにできた制度でした。「大阪都」構想とは？大阪市の権限と財源を大阪府が奪って、カジノ誘致や鉄道・道路など巨大開発を推進するための制度です。

大阪市廃止と「特別区」の設置で庁舎整備など最大637億円、議会などの職員が増えて毎年50億円以上もコストが増えます。これを気にしたのか「今の淀屋橋の本庁舎を特別区4区が共同使用」という珍論が維新から出されました（法定協・9月12日）。なんのために大阪市の廃止して「特別区」にするのでしょうか？

カジノより防災対策を！



地震・津波・豪雨・台風への備えが優先です！

津波を伴う南海トラフ地震は30年以内に70%～80%、地球温暖化で台風が巨大化し、市民の命と安全を守る対策の強化が最優先で求められます。「大阪市廃止」やカジノ誘致に役所のエネルギーを使っている場合にはありません。

地方自治体の本来の役割は住民のくらしと安全を守ること、今それが大阪府・大阪市に求められているのではないのでしょうか。